

南山大学図書館報

DYNAMIS

～デュナミス～

No.39 2001.4.1

ブラジル・ポルトガルの思い出

丸山 徹

20年前のブラジル、10年前のポルトガルでの話。

ラテン国というのは本当に「予期せぬ出来事」が多い。楽しいことも辛いこともある。また、どこも実に騒々しい。ブラジルの修道院にやってきたフランス人のシスターが食事時、あまりの騒々しさに、思わず「あなた達はシスターでしょ、もう少し静かになさい」と言ったところ「神様はブラジル人をお喋り好きにお作りになったの」と言って皆、そのまま話し続けたと言う。図書館も例外ではない。大学図書館の一般閲覧室は結構、騒々しい。読書中、思わずため息をついて、上の方を見ると「お静かに(SILENCIO)」という張り紙があり、苦笑したのを今でもはっきり覚えている。でも、人間対人間の、和気藹々とした空間がそこにはあった。そういえばポルトガル国立図書館の貴重書室でも何か食べながら本を見ている人がいたけれど、誰も注意していなかったのが驚いた。マイクロフィルム閲覧室では、係の人がみかんを食べていた。それをじっと見つめていると(みかんを)二房くれて「日本にもみかんはあるか」と聞いていたな。ポルトガル国立図書館の人達は本当に親切だった。

友人の中に善良でとぼけた人がいた。彼はある日本企業からの派遣留学生であったが、ブラジルに来てまもなく、図書館で借りていた本をタクシーの中に置き忘れてしまった。あの国でタクシーに置き忘れた物など、まず出てこない。降りてすぐ気がついた彼であったが、さすがののんびり屋もその時ばかりは真っ青になっていた。一体、どうやってポルトガル語で謝り、(すでに絶版となっている本を)どのように弁償したらいいのか眠れない夜を過ごし、明るる日に恐る恐る図書館へ出掛け、事情を説明した。彼の説明をじっと聞いていた図書館の担当者にはこにこしながら「じゃあ悪いけど、その絶版になっている本をどなたか先生に借りて、全ページコピーして(製本代を添えて)戻してくれる?」と申し訳なさそうに言ったとのこと。どんなに叱られるかと思っていた彼は、安心しきった顔で戻ってきた。その後、彼が(本は無くさないように注意しながら)図書館を十二分に活用し、充実した有意義な留学生生活を送ったことは言うまでもない。インターネット

も E-MAIL も OPAC もない時代のことである。一体、図書館にとって大切なことは何なのか。文献データの電子化も、コンピュータネットワークによる検索も、貴重本の電子化も、みんな大切だ。でも、一番大切なのは、そこに働く「人間」とそこを利用する「人間」の信頼関係、それをいかに作り上げ、保っていくかである、と考える。

しかしながら(ブラジルやポルトガルをよく知る)友人達は、言うかもしれない。「ブラジルは人の失敗に対して怒ったりしない文化だから」「それは対応した図書館員があまり責任のない部署の人で、その人にとってどうでもいいことだったからじゃないの」また「ポルトガルが一般に外国の研究者にやさしいのはドイツ・フランス・イギリスなどに比べ外国から来る研究者数が極端に少ないからさ」などなど。また今まさに日本各地の図書館で働く方々からは「甘い甘い、延滞料でさえ一日何百円かとらなければ、本を返さない時代なのに」とか「最近の図書館利用者のマナーは全くなっていないのに、信頼なんてしてたら、机は食べ物のカスだらけになり、貴重な本はみなどこかにいってしまう」といった声が聞こえてきそう。きつとどの意見もそれぞれに正しいのだろう。でも一方で学生時代の私だったら「延滞料が高くて返し忘れると大変だからできるだけ本は借り出さないようにしよう」などと考えてしまうかもしれない。

ブラジルやポルトガルでの経験から、今でも、図書館で一番大切なのは「人間」と「人間」の信頼関係、それをどう保っていくかなのだ、と考える。時に、本がなくなったり、閲覧室が汚れたり、図書館がうるさくなったり…するだろう。それはよくないことだ。でもやっぱり、図書館で一番大切なことは、静かな閲覧室を断固守り、すべての本をきれいに保ち、絶対に本がなくならないよう罰則を強化し、コンピュータで瞬時に検索できるシステムを確立することではなく、「人間」の匂いのする空間で、お互いの信頼関係を築き上げ保ち続けることなのだと思う。そんな夢を見た。ただの夢です、悪しからず。

(Toru MARUYAMA: 人文学部教授)

2001年度 新入生歓迎企画展

「名古屋の地名にせまるみゃあ！ 瀬戸の地名もやろまいか！」

～地名についての素朴な疑問にお答えします～

4月2日(月)～4月20日(金)

南山大学名古屋図書館 1階ブラウジングコーナーにて開催

4月23日(月)～5月1日(火)

南山大学瀬戸図書館にて開催

新入生の皆さん、南山大学へようこそ！

名古屋・瀬戸のキャンパス周辺で学生生活をスタートされる方も多いでしょう。

ところでこの地域、読みづらい地名が多かったり、意味ありげだけど意味不明な地名が多かったりすると思いませんか？

そこでこの春、図書館では新入生の皆さんに大学周辺の地名の由来と図書館を利用した様々な調査方法を紹介します。

図書館はみなさんの充実したキャンパスライフを応援します！

Essay

吐く息も白き白衣の天使かな

石田昌久

告白するのは恥ずかしいが、話さないことには文字通り“お話にならない”ので敢えて言うと、数年前の年の瀬に繁華街で400ml 献血をして倒れたことがある。倒れたというといかにも大袈裟に聞こえるが、正確には、頭がくらくらして歩けないから献血バスの中で暫く休ませてもらった、ということだ。久しぶりの献血だったのと、素敵な看護婦さんだったから気持ちが舞い上がったのが、災いしたのかもしれない。

災いを転じて福となす。お見事という他ない彼女たちの献身的な仕事ぶりに感じ入った。その対応は積極的だが決して押し付けがましくない。迷惑を掛けたくない、とまで思わせるのだから不思議だ。私が長椅子に横たわっていると、一人が矢庭にやって来て汗を拭いてくれる。そして、気持ちを落ち着かせようと言言二言声を掛けてくれたかと思うと、すぐさま自分の持ち場に戻り他の人の献血をする。ややあって、また別の一人がやって来て介抱してくれる。まるで私という患者を取り合うように、5、6人の看護婦さんが次から次へとやって来て代わる代わる介抱してくれるのだ。一人が去り、次の一人が来るまでのその“間”がまた好い。長過ぎもせず短過ぎもせず正しく絶妙。

「あ、来るな」と思うとその「来る」の「く」の字の頭を押さえるようなタイミングで来てくれる。笑顔を絶やさず“汗水垂らす”ような暑苦しさもない。実に爽やかで身ごなしは軽やかなのだ。しかも合理的で無駄な動きが一切ない。街は華やかなクリスマスシーズン。心の中で恨めしく思っているもおかしくないが、そんな素振りは微塵も見せない。突発時のマニュアルができていのだろうか。所謂危機管理がしっかりしている。普段から病気やケガといったアクシデントに対処する仕事だから、あるいは、命に拘わるのだから当然といえば当然だ

が、医療過誤が新聞を賑わす中での出来事だったから、彼女たちが健気にさえ思えた。

私は図書館司書として自問自答した。カウンターで360度に気を使い、常時臨戦態勢でいたのかどうか。手早く貸出処理ができて、それはただの自己満足であって、実は利用者を焦らせていたのではないのか、と。対人サービス担当として彼等の気持ちを十二分に汲み取り、その疑問に対して説得力ある回答を与えられたのかどうか、甚だ心許なく、今や確認する術もない。カウンターを離れ、毎日事務室に籠って本の整理業務をする私は、利用者と接する機会が殆どないのだ。その代わり、眼前の本の向こう側に彼等が居ることをいつも思い浮かべるよう努めている。加えて、看護婦のように聴診器を使うことはできないから、全神経を動員して理性に照らしつつ本の“息遣い”を感じ取っている。一冊一冊の“人となり”を書誌として書き留めねばならない為だ。こうして私の直接の仕事相手は、利用者から本そのものへと変わりはしたが、司書としての仕事の本質に違いはない。患者や利用者が人間という生きものなら、本もその読み方によって刻々と様態を変える“生きもの”だ。対人サービス部門と技術サービス部門とが有機的に結びついて初めて図書館は機能する。本学も司書課程を設けて一年。司書の大変さも楽しさも全部引っ括めて受け止め、それでもやはり司書になりたい、そんな学生さんが増えてくれれば私は救われる。

そういえば、茶髪に厚化粧の高校生嬢が電車の中でお年寄に席を譲るのを見かけた時も同じだったが、心憎い好いことがあると、厭世的な私を「もう一日ぐらい生きてみようか」という気にさせてくれる。よし、今夜も同僚のM君を誘って飲みに行くこととしよう。

(Masahisa ISHIDA：整理係)

資料紹介

今年度、購入したもののの中から2点紹介します。

植民地年鑑

植民地年鑑は、旧植民地において刊行された主要な年鑑を網羅し、復刻した年鑑集成です。近代日本において植民地が拡大することにより、植民地に関して様々な情報への需要が高まり、各植民地では他方面の情報を網羅的に集約した年鑑が発行されることになりました。この各地域別の年鑑は1冊の中に政治・経済を始め、教育、宗教、学芸、スポーツ、統計、日誌、各種名簿から旅行案内にいたるまでの情報がコンパクトにまとめられていて、植民地研究には必須の資料です。この資料によって今まで断片的であった植民地情報が、地域・時期を通して体系的に集積されることとなります。

今回、新たに図書館に所蔵されたのは次の2点です。

満州年鑑 復刻版 1933(昭8)～1945(昭20)

請求番号：Z/310L/Ma47

満州国とは日本が日露戦争後、諸権益を得た中国東北、内モンゴルにおいて、1932(昭7)年3月に清朝の廢帝溥儀を元首として設立した傀儡国家です。この資料は満州国が設立された翌年の1933年に創刊され、1945(昭20)年に日本が敗戦し、満州国が消滅するまで続いています。

樺太年鑑 復刻版 1932(昭7)～1939(昭14)

請求番号：Z/310L/Ma47

日本は1905年、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約によりロシアから北緯50度以南の樺太島の割譲を受け、1907年樺太庁を設置します。そして、日本の敗戦によりソ連に編入されるまで樺太島は日本の統治が続きます。この資料は実際に旅行や移民などで情報が必要となり始める1932年に創刊されています。

※植民地年鑑は今後、南洋年鑑、大南洋年鑑、台湾年鑑と続きますが、現在の所、図書館での所蔵は未定です。

Geschichte des Bürgerliches Gesetzbuch ドイツ民法典成立史コレクション

このコレクションはゲッティンゲン大学 Karl Michaelis 教授の蔵書であり、アクルシウスの注釈によるローマ法大全からゲルマン法、ローマ法、パンデクテン法学の主要文献を含みます。またドイツ法制史上、最も影響力のあったドイツ民法典とその2つの草案のオリジナル版も収録しており、ドイツ民法の成立、発展を研究する上で必要不可欠なコレクションです。

内容的には次のように大きく分けることができます。

1. Kodifikation des bürgerlichen Rechts

ドイツ民法の歴史的発展をたどることのできる文献を収録

2. Zivilrechtswissenschaft im 19. Jahrhundert

19世紀のパンデクテン（ドイツに受け継がれたローマ私法のこと、ヨーロッパの法制史に多大な影響を与えた）を収録

3. Römisches und deutsches Recht vom 13. bis zum 18 Jahrhundert

著名な法学者の注釈を付したローマ法大全等を収録

主な収録作品

- ・ BGB: BÜRGERLICHES GESETZBUCH vom 1. Januar 1900. Berlin 1896.
- ・ SACHSENSPIEGEL : Ausgabe Leipzig 1561 : Vögelin, ed. Zobel
- ・ CORPUS JURIS CIVILIS : Ausgabe Lyon 1612 : Glossa Ordinaria
- ・ SAVIGNY, Friedrich Carl von (1779-1861)
: Geschichte des römischen Rechts, Heidelberg 1815.
- ・ JHERING, Rudolph von (1818-1882) : Geist der römischen Rechts, Leipzig 1878.
- ・ WINDSCHEID, Bernhard (1817-1892) : Pandektenlehrbuch, Düsseldorf 1873.
- ・ EICHHORN, Karl Friedrich (1781-1854)
: Deutsche Staats-und Rechtsgeschichte, Göttingen 1834.

南山大学図書館に所蔵されている本や雑誌、
CD-ROMなどのうち“知ってよかった！”
そんな資料を取り上げて紹介するコーナーです。

図書館Webページ上に拡がる文献/情報探索サービス — ProQuest Academic Research Library を中心に —

昨年度は、図書館 Web ページ上に朝日新聞記事全文データベース (DNA=Digital News Archives) を公開しました。その結果、キーワードなどから Web 上で新聞記事を検索し、記事全文を電子情報として手元のパソコンから入手することができるようになりました。2001年4月からは、Web 上で特定の雑誌の記事・論文の全文を入手することができる。いわゆる電子ジャーナル (これまで紙の上に印刷して発行していた雑誌を電子化し、Web 上で提供するもの) のサービスが始まります。皆さんに利用していただくのは ProQuest Academic Research Library (ARL) という電子ジャーナルのパッケージ。文献の検索から記事・論文の入手までを Web 上で可能にするサービスです。学内のパソコンからは勿論、回線をダイヤルアップで大学に接続し、PDF ファイルの閲覧可能なソフトウェアがインストールされている場合には自宅のパソコンからも利用することができます。なお PDF ファイルのアプリケーションは図書館 Web ページ上からダウンロードすることができます。

ProQuest Academic Research Library (ARL)

① ProQuest Academic Research Library とは

学術雑誌2,300誌に収録された記事の索引や抄録の検索ができます。またそのうち1,500誌については雑誌のフルテキスト (全文記事) もオンライン上から入手できる「電子ジャーナル」のパッケージです。現在南山大学図書館で購読している雑誌のうち、およそ290誌が ARL で入手可能になります。

② 収録期間

「記事抄録」 1971—現在

「記事全文」 1987—現在

③ 収録分野

芸術・ビジネス・教育・金融・福利厚生・法律・医学・政治・宗教・科学技術・社会科学等
収録誌一覧⇒ <http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/UMI/pqd04.htm>

④ 主な特徴

1) Silver Platter 社の WebSPIRES による文献 / 論文リストとのリンク

Web ページ上で従来より提供している Silver Platter 社の WebSPIRES による“Humanities Index”, “Econlit”, “MLA bibliography”, “Readers’ guide to periodical literature”などを検索することにより、文献 / 論文リストを手にいれることができます。これまではその文献や論文が掲載されている雑誌の所在を改めて探す必要がありました。しかしながら、ARL で提供される電子ジャーナ

ルのフルテキストに直接リンクする機能が加わったことにより、ARLに収録されている雑誌についてはその全文記事が直接入手できることになりました。

↓ Silver Platter 社の WebSPIRES で検索した結果、表示された文献 / 論文リスト画面

Record 4 of 28 in MLA Bibliography 1963-1990
 TI:Death and the Emperor: Misima, Oe, and the Politics of Betrayal
 AU:Napier,-Susan-J.
 SO:Journal-of-Asian-Studies,Ann Arbor,MI(JASt).1989 Feb.,48:1,71-
 AN:1989037985
 *LHM:Fulltext 2/1/88+ available on ProQuest(Academic Research Library)

Record 5 of 28 in MLA Bibliography 1963-1990
 TI:An Interview with Kenzaburo Oe
 AU:Yoshida,-Sanroku
 SO:World-Literature-Today:-A-Literary-Quarterly-of-University-of
 Summer,62:3,369-374
 AN:1988090213
 *LHM:Fulltext 1/194+ available on ProQuest(Academic Research Library)

ここをクリックすると、
 ARLの画面へ。
 ARLの収録期間内であ
 れば全文を入手できる。

- 2) データは毎日更新
- 3) 記事は書誌索引 / 抄録、全文、全文 + 画像 (4 倍まで拡大可能)、ページイメージの 4 種類で表示・出力が可能
- 4) 検索項目はキーワード・全文・主題・個人名・製品名・会社名・地域名・キャプション・発行日・文字数など 30 項目

また、従来冊子体で所蔵していた「Mathematical Reviews」(Z/410L/Ma72) を、今後は電子ジャーナル「**MathSciNet**」により Web 上で提供するほか、以下のデータベースも利用できるようになります。

MAGAZINEPLUS

① MAGAZINEPLUS とは

従来の「雑誌記事索引」に一般誌の記事情報を収録する「ジャーナルインデックス」等を加えた「**雑誌記事索引**」の拡大版です。一般誌から専門誌・大学紀要・海外誌紙まで8,500誌・520万件(記事)を収録した国内最大規模の雑誌・論文見出しデータベースです。

② 収録期間

「雑誌記事索引」 1975—現在
 「ジャーナルインデックス」 1981—現在

④ 主な特徴

- 1) 学術誌、専門誌を中心とした雑誌の記事情報約330万件が収録されている「雑誌記事索引」や、一般的な雑誌160誌の記事情報が収録されている「ジャーナルインデックス」などの雑誌・論文情報データベースを一括して検索可能
- 2) 人文社会系の年次研究報告や、学術論文集のファイルを収録 (1945—1995)
- 3) 「新着情報」では、ジャンル別に最新収録誌の目次情報を提供
- 4) 「雑誌記事索引」は隔週更新、「ジャーナルインデックス」は毎週更新
- 5) 検索項目はキーワード、記事名 / 論文名、著者名、雑誌名、刊行年

LEX/DB INTERNET (法律情報データベース)

法学部の皆さん必見!

これまで大学院生以上利用可という制限がありましたが、2001年4月よりすべての利用者の方にお使いいただくことができます。

明治8年の大審院判決から今日までの判例を網羅的に収録した日本最大級のフルテキスト型法律情報データベースを基にして、下記のデータベースが準備されています。また、新着判例のリストが毎週提供される他、データも毎週更新されます。

- ・ **総合データベース**—判例全文を収録。民事法、民事特別法、公法、社会経済法、刑事法のすべての法律分野を網羅的に収録
- ・ **個別データベース**—税務、知的財産権、交通事故、医療に関する判例を収録。分野別に収録されているため、目的に合わせた確実な検索が可能
- ・ **要旨データベース**—明治23年以降の税務判決および国税不服審判所裁決事例を平易に要約して収録。要旨から判例全文へのリンクや関連する要旨へのリンクが可能
- ・ **Q&Aデータベース**—税務 Q&A、会社法 Q&A。税務事例および会社法関係の具体的な事例を取り上げ、質問に対する回答と詳細な解説を提供

Moody's Company Data Direct & Moody's International Company Data Direct

経営学部の皆さん必見!

① Moody's Company Data Direct & Moody's International Company Data Direct とは

米国上場企業約10,000社と米国以外世界100カ国、約13,000社の詳細な企業情報を収録しています。すべての財務データは各企業が公表した数字をそのまま提供しています。

② 主な特徴

- 1) 過去10年分以上の財務情報(毎週更新)
- 2) Excel, Word 形式でデータのダウンロードが可能
- 3) 各社発表のニュース速報登載
- 4) 各社最新アニュアルレポート収録
- 5) 米国 SEC(EDGAR) レポートフルカバレッジ
- 6) 米国 NYSE, AMEX, NASDAQ 銘柄各社の株式レポート収録

ご紹介したサービスは、2001年4月より図書館 Web ページの「検索/リンク集」(検索データベース)の一覧から利用することができます。ぜひお試しください。

(Fumi KATO: 閲覧・参考係 加藤富美)

南山大学 瀬戸図書館

マルチメディアルーム

VIDEO, CD-ROM, DVD…
どれを使うかは、あなた次第。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

瀬戸キャンパスが誕生して1年。図書館も瀬戸で初めての春夏秋冬を経験し、1年をかけて随分成長しました。そんな瀬戸図書館には目的別に設置された部屋が4つあり、それぞれにマルチメディアルーム、パソコンルーム、コピールーム、多目的ルームという名前が付いています。今回はその中から、マルチメディアルームを取り上げて紹介します。

マルチメディアルーム

マルチメディアルームには“本”という形態をしていない資料、もっと簡単に言えば、それ自体では見たり聴いたりできない資料が集められています。たとえば、VIDEO・DVD・CD-ROM・MICROFILMなどがこれにあたります。そして、これらの資料を視聴するために必要な機器も、この部屋には用意してあります。



合計33台の各種ブースを設置



マルチメディアルームにある資料が利用しやすいように、それぞれの媒体に対応した機器を組み合わせ、ブースを設置しています。ここではブースすべての紹介はできませんが、幾つかのブースの様子をご覧にいきましょう。

注) マルチメディアを楽しく使うための設備ですが、この部屋では原則として「マルチメディアルーム附属の資料のみ利用可」としています。学習目的以外で個人の私物を持ち込んで利用することはできません。
また、現在この部屋からインターネットに接続することもできません。

■ビデオ/CD/MD ブース



主電源 (ON=緑ランプ)

MD

MDに録音した教材が宿題になることがあります。LL自習室が使えない時間でも、図書館の開館時間内であれば、ここで視聴可能です。

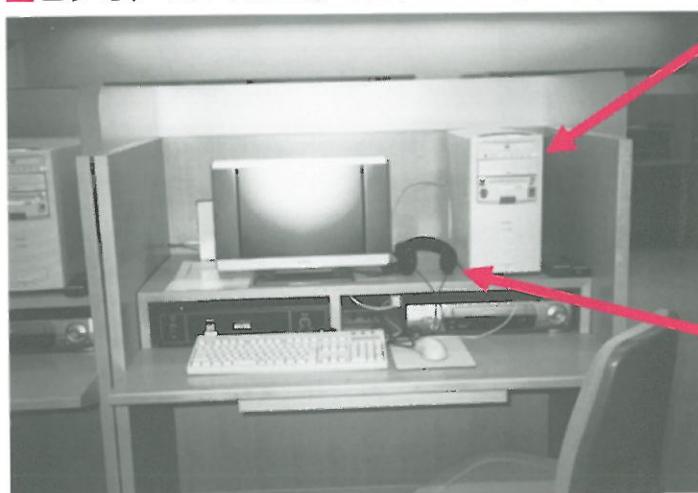
CD

Video

Closed Caption Decoder

ビデオのCaption (英語字幕) を表示させたり隠したりする機器。ただし、ビデオテープはClosed Caption用のものに限られます。

■ビデオ/CD-ROM/FD/DVDブース



PC (DVDドライブ内蔵)

DVDの視聴ができます。もちろんCD-ROMやフロッピーディスク (FD) も使えます。例えば、CD-ROMから統計データをダウンロードして、それを加工することも、このブースなら可能です。

ヘッドフォン

全てのブースにヘッドフォンが付いているので、音楽付きの映像でも、隣の人を気にせず思いっきり満喫できます。

■ビデオ (World Wide) / DVDブース 2人用



2人用ブースはヘッドフォンが2つ用意してあるので、同じビデオテープを2人一緒に鑑賞できます。また、写真が無くて残念ですが、隣の4人用ブースには肘掛つきのゆったりした4人掛けソファを置いていますので、友達とビデオやDVDを見てのんびり時間を過ごしてみるのもいいかもしれません。

瀬戸図書館では、今年の夏を目標に、2人用・4人用のビデオ / DVD ブースから衛星放送でCNN ニュースが視聴できるよう準備をすすめています。CNNが見られるようになった時には掲示等でお知らせします。楽しみにしててください。

とりあえず、図書館に行っとく？

さて、ブースの紹介ばかりになってしまいましたが「マルチメディアルームにはどんなVIDEO, CD-ROM, DVDがあるのか知りたい!」というあなた、是非、マルチメディアルームを覗いてください。まだ資料の数こそ多くありませんが、語学学習に適した教材からスポーツ・映画まで、幅広いジャンルを揃えています。新入生のみなさんは「とりあえず、図書館に行っとく?」という感覚で、気軽に立ち寄ってくださいね。

ちなみに、昨年度は“シックス・センス”“恋に落ちたシェイクスピア”“マトリックス”等、映画を指定 AV 教材にして課題を出した先生もいました。

(ただし、指定 AV 教材は先生や講義によって毎年変わるものなので、今年もこれらのビデオがマルチメディアルームに置かれるかどうか、それはわかりません。)

図書館はみなさんの快適な大学生活のために一役買いたいのです。—それがたとえ、講義と講義の間や、スクールバスを待つためのほんの僅かな時間だったとしても。

ただし、快適さと同様、静かに学習する環境を提供するのも<大学>図書館の大切なサービス。そして、このサービスは図書館だけが頑張っても成り立ちません。図書館の中では“大きな声で話さない”“携帯電話で通話しない”。これは特別なことではなくて、一般社会のマナーと同じです。

マナーを守って、図書館とその中にあるマルチメディアルームを上手に利用してください。

(Yukiko YAMAGUCHI: 瀬戸図書館 山口 祐貴子)

春期図書館利用講習会のお知らせ

図書館を使いこなすための利用講習会です。
個人でも、ゼミ・授業単位でも申込できます。

講習の内容

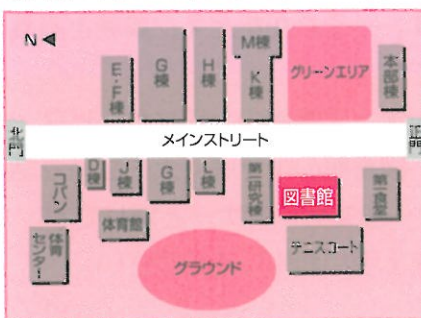
- 初級** 図書館の使い方や資料の探し方の基本など、図書館の資料を上手に使う方法を中心に説明します。また図書館内を実際に案内します。
新入生向きです。
- 中級** 卒業論文やレポートの作成などに役立つ文献・資料の探し方を中心に説明します。特に図書館 Web ページから効果的、効率的に資料を探す方法を紹介します。
3・4年生向きです。

- 開催日程 4月11日(水)～6月29日(金)
- 所要時間 60～90分
- 申込場所 受講したいキャンパスの図書館
レファレンス・カウンター

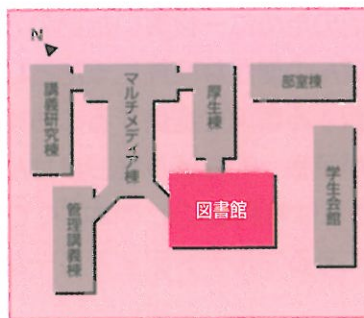
□詳細については申込時に図書館レファレンス・カウンターにてお尋ね下さい。

〈編集後記〉

新入生のみなさん入学おめでとうございます。みなさんの来館をお待ちしています。(初)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.39
 2001. 4. 1 発行
<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>
 発行：南山大学図書館 広報委員会
 編集委員：初野、伊藤(か)、土井
 印刷：一誠社
 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
 Tel : 052(832)3707/Fax(G3):052(833)6986